

# 会員企業探訪

## IT経営相談を活用 現場仕事を 効率的にイノベーション

株式会社 高宮電気 代表取締役社長 高宮 智仁



東津田の沼兒童公園北側に社屋を構える



2Fの事務所は明るく、小さいながら効率よく仕事をこなすための工夫が



勤務管理や仕事の進捗、経理など様々なことがいつでもどこでも、スマホで確認・対応できる



太陽光で発電した電気を貯める蓄電池や、状況確認のモニターなどの設置もお任せください

### 経営理念

会社の繁栄・会員の物心両面の幸福  
協力業者様の繁栄・お客様の満足  
地域社会への貢献

山陰地方で一番多くの「信用」「信頼」「安心」が提供でき、「ありがとう」と感謝される会社になろう。

最新のIT技術を導入し業務のイノベーションを図るのが、もはや当たり前という時代。SNSの活用、キャッシュレス化への対応、エクセルなど既存ソフトのスキルアップ、さらにクラウドの活用など、IT化と一口に言っても、そこには多方面にわたって多様な選択肢が広がっており、いざ取り組もうとしてもとまどってしまう場合もある。商工会議所が開催する「IT経営相談」では、専門相談員が相談企業の直面する課題に対して、個別にわかりやすく業務環境改善への方策を提示している。今回はその事例をひとつ紹介する。

東津田町に本社のある高宮電気は平成22年の設立。高宮社長は工業高校卒業後電力会社に入社。電気の災害復旧など懸命に働くなか25歳のとき大腸がんが発覚、生死の淵をさまよった。2年間ほど闘病、リハビリの日々を送り、身体は回復を果たし徐々に仕事に復帰。恩をいただいた電力会社に応える形で電気メーターの取替、エアコン設置、オール電化の促進など細かな仕事をこつこつと積み重ね信頼を築き、38歳で法人化設立。専務で妻の和美さんは看護師としてその闘病生活を支えたという。設立後はオール電化工事や太陽光発電事業が時代の追い風を受けて順調に伸び、経営の柱となった。他に住宅リフォーム工事も手がけている。かつての仕事は現場があちこちに分散し、関係業者も出入りが多く、事務

での3ヶ月ほどはいろいろ大変でしたが、劇的に経理事務が楽になって、さらにクラウドにアクセスすればどのパソコンでも見れるので、自宅や外出先でも簡単にお金の様子がチェックできるのも便利です。私も営業活動で外へより多く出かけるようになり「和美さんとはよろこぶ」。また業務管理として導入したビジネス向けLINEアプリ「ラインワークス」も、現場でのスムーズな仕事運びに大いに役立っていると高宮社長はいう。

「私は相当なアナログ人間で、ITについては苦手意識もありましたが、このラインワークスは使ってみるとすごく便利なのがわかりました」。ラインワークスでは仕事の現場ごとにグループを設定し、携わる他の会社に入ってもらい、そこに図面や配線図、資材表などをアップし、情報を共有。さらに施工中の現場写真をアップすることで、離れていても工事の進捗状況などが一目でわかる。仕事の手順のやり取りなどもLINEそのままに簡単そのものだという。

「以前は進行がまちまちで現場で口スの時間が出るなど茶飯事でしたが、このアプリひとつで現場の仕事がこれほど楽になるとは」と驚きを隠さない。生まれた時間の余裕を営業活動に活かす

「IT経営相談」の扉を叩いてから一

所と現場での連絡調整が一仕事だったという。また現場で足りない資材や道具をそれぞれ社員が個別に購入し、あとで現金決済するなどのやりとりが多く、出勤や残業など時間管理も紙ベースだった。想像通り月末月初の事務仕事は煩雑を極め、数日間も机から離れられなかったとふりかえる。そんな様子だった2年前の冬、和美さんは会計業務の効率化ができないかと「IT経営相談」の扉を叩いた。

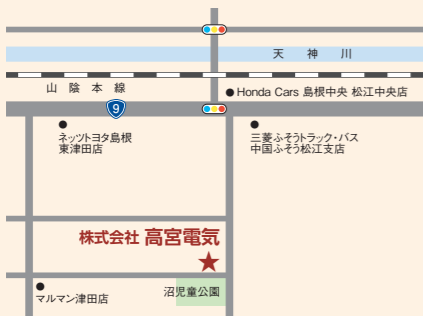
### 経理・給与計算のミス激減 現場仕事のムダも解消

「IT経営相談」の専門相談員から勧められたのはクラウド会計サービスの「マネーフォワード」。銀行口座やクレジットカードなどのお金を自動でまとめて管理できるもので、和美さん自身も以前から自身の家計簿代わりとしてアプリを使っていたことから安心感もあった。さらに、会社の会計、経費、給与、請求書が一元管理できる。これを使えば大幅に工数が減り便利になるということで、さっそく試してみることにした。

「銀行の入出金額がすぐにパソコンにアップされるので便利だし、併せてスマートフォンと法人のクレジットカードを従業員各自に持ってもらい、マネーフォワードと連動させました。現場で必要なものの購入はすべてカード決済にし、出勤・退勤・残業時間もスマホ管理に変えました。慣れるま

年半。高宮社長は業務改善へ手ごたえを感じている。「収支の計算や経理的な仕事に関する時間もストレスも、ずいぶん減りました。さらにラインワークスでみんなが仕事を共有し、可視化できることが現場に余裕をもたらし、ムダがなくなりました」という。

「当社の場合、専務が革新的で新しいものに飛び込んでいくタイプだったところが良かったのかもしれない。うちのような会社でもITを導入することで、こんなに革新できたということが少しでもわかっていただいで、他の会社のIT化の後押しになればうれしい」と高宮社長。今後は、IT化によって生まれた時間の余裕を営業力の強化に回し、法人請け以外の、一般客中心の元請仕事の割合を増やしていくこと、ノウハウのある太陽光発電と今後需要が高まる蓄電池のセットプランの提案に使いたいと話してくれた。



株式会社高宮電気  
〒690-0011 島根県松江市東津田町1212-16  
TEL0852-60-1900 FAX0852-78-2692  
[web] http://www.tmdk.co.jp/